

作成：Bグループ 16班 地域資源マップ

①モロコシ畑



広大な畑群の中にモロコシを栽培している畑があった。モロコシは主に家畜の飼料として用いられている。また、周囲にはトウモロコシを育てている畑もあり、スイートコーン「ゴールドラッシュ」は道の駅つので販売されている。

②キャベツ畑



都農ファームの看板が立っていないところから個人的にキャベツの栽培をしているのではと考えられる。都農町では高齢化が進んでいることから、今後畑の管理が難しくなり、耕作放棄地になってしまうのではという懸念点がある。またその耕作放棄地となった農地を他地域から来た企業などに利用された場合、徐々に都農町の地域性が失われていく可能性もあると考えられる。

③ソーラーパネル



固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギー発電事業設定発電設備があった。広範囲にわたってソーラーパネルが設置されていた。

④都農南小学校



2021年に創立75周年を迎えた。校門すぐ横には和田用水の記念碑がある。この用水は南小一帯の田畑を潤している。1部は学校中を通っている。1棟と2棟の間の中庭には築山と藤棚があり日本庭園のような佇まいである。



⑤いも畑



今回の実習の中で多くの芋畑を目にした。町人に話を聞くと最近では芋を作る人が多いとの事。またそれらの芋は焼酎に使われることが多い。2017年にはワイナリーの畑で栽培されたさつまいもで作った焼酎『月夜畑』が販売された。ふるさと納税の返礼品にもなっている。

⑥都農ファーム



キャベツ・白菜・胡瓜をメインにとうもろこし・ナス・青ネギ・白ネギの生産を行っている。最近の取り組みとして障がい者雇用が不足しているため障がい者が少しでも自立した生活を目指せるように野菜の選別・袋詰めなど生産以外での事業を展開している。

⑦空き家



実習の中で空き家を何度か見かけた。その中にはまだ人が住めそうな家もあった。都農町には空き家バンクという取り組みがあり、都農町に移住することを希望している方に“空き家”の有効活用を通して地域の活性化を図ることを目的に空き家情報の提供を行う。

⑧茶畑



都農町川北には、茶畑がいくつかあった。人がいなくてどんな種類のお茶を栽培していたのか分からなかったが、インターネットなどで調べてみると、いくつかの会社が出てきた。門田製茶や河野茶園が出てきた。どちらの会社も農薬や化学肥料に頼らないお茶づくりに取り組んでいた。特に、河野茶園は農薬・化学肥料不使用の完全有機栽培に取り組んでいた。

⑨コラ田

農業基盤整備事業を農業生産力の増大と生産性の向上のため、国や自治体の資金補助を受けて行った。コラ田工区においては、小さい田んぼが複雑に配置されていたのを大きく直線状になるよう再配置したことで、農地面積の増大と機械の導入による生産性向上が行われた。

